

那覇空港第二滑走路供用セレモニーを開催しました

沖縄総合事務局
開発建設部空港整備課

- 令和2年3月29日(日)14時より、菅内閣官房長官、赤羽国土交通大臣、衛藤沖縄担当大臣ご臨席のもと、那覇空港貨物地区(那覇市)にて、「那覇空港第二滑走路供用セレモニー」を開催しました。
- その他国会議員16名、玉城沖縄県知事、県内市町村長をはじめ、国・県関係者、経済界から、合計約70名が出席されました。



菅内閣官房長官は、第二滑走路は、これから沖縄が発展する中で、観光産業を中心とする沖縄の発展を考えるとときに大きな役割を果たしてくれると信じている、と挨拶した。



赤羽国土交通大臣は、第二滑走路の供用により、那覇空港は、まさに「万国津梁」、すなわち世界との架け橋として、名実ともに我が国を代表する拠点空港として生まれ変わった、と挨拶した。



衛藤沖縄担当大臣は、今後、2本の滑走路を十分に生かし、那覇空港が東アジアのゲートウェイ空港として、沖縄振興に大きく寄与することを確認している、と挨拶した。



玉城沖縄県知事は、アジアのダイナミズムを取り込む玄関口として、2本の滑走路の能力を最大限に生かした世界水準の拠点空港を目指す、と挨拶された。



岸田議員は、第二滑走路の供用により、国内外の人流が促進され、沖縄が大きく成長していくための起爆剤としての役割が大いに期待される、と挨拶された。



太田議員は、6年前の起工式にて、国土交通大臣として挨拶したが、計画通り第二滑走路が供用開始されたことはこの上ない喜び、と挨拶された。



テープカットの様子